

2025年度 授業コード: 13116600

授業科目	上級日本語（留学生のみ）				実務家教員担当科目	-			
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期		
担当教員	林 裕二								
授業概要	中級レベルの日本語を学び終えた学生を対象に、一般の授業が十分に理解できるアカデミック日本語のレベルまで、四技能（聞く・話す・読む・書く）を総合的に伸ばすための授業を行う。具体的には、まず、テキストをベースに語彙や文法を学びながら、様々な文章を読む。その上で、自らの意見を話したり書いたりする時間も設ける。授業時以外でも日本語の学習ができるよう、自宅でできる課題も課す。小テスト、レポート提出と口頭発表を毎回行う。								
授業形態	対面授業			授業方法	復習として音読練習後に、オンラインの音声入力を利用して、文字化したものを自分で修正して出した課題を、授業でチェックします。				
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語の四技能（読む、書く、聞く、話す）を向上させることができる。 2. 一般的な授業を受ける際に必要とされるアカデミック日本語のレベルに十分に到達できる。 3. 比較的取り組みやすい内容の新聞の社説を要約、プレゼンテーションができ、質疑応答に基本的に対応できる。 4. 助詞表現に慣れて、自然に文を読むことができる。 5. 成績評価において良（70～79）を獲得できる。 								
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新聞の社説を要約、プレゼンテーションができ、質疑応答に基本的に対応できる。 2. 成績評価において優以上（80点～）を獲得できる。 								
評価方法・評価割合									
評価方法		評価割合（数値）				備考			
試験		50							
小テスト		15							
レポート		20							
発表（口頭、プレゼンテーション）		15							
レポート外の提出物									
その他									
カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング									
DP1	-	DP2	○	DP3	-	DP4	○	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
予習・復習								1	
授業計画									
第1回	オリエンテーション								
第2回	地理								
第3回	家族・家庭生活								
第4回	情報化社会								

第5回	日本の文化
第6回	医療
第7回	犯罪
第8回	科学技術
第9回	文学・芸術
第10回	法律
第11回	人間関係
第12回	政治
第13回	心の豊かさ
第14回	生命倫理
第15回	まとめ
テキスト	日本語に対応した（電子）辞書、日本語の文法書。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	音声課題をオンラインの音声入力を利用して聞き取り、文字化したものを自分で修正して提出してもらいます。それをチェックします。授業で返却して解説します。「中級日本語」からつながる授業として、特に「助詞」について理解を深めることができるようにフィードバックをします。
課題に対するフィードバックの方法	日本語能力試験（JLPT）を利用して、N1レベル以上の日本語語彙・文法知識及び読解・聴解能力を高めます。 毎日、少しでも何か日本語の文章、特に新聞・雑誌を読むようにしてください。日本語の語学的な側面だけの強化ばかりでなく、日本語で読むことで教養を豊かにすることができるようにしましょう。外国語の学習は、母語学習と結びついてきます。ここでは留学先の日本という国での生活を通して、社会的文化的側面も学ぶ、絶好の機会です。それを確認していくためにも、毎回のレポート、プレゼンテーションにしっかり取り組んで、成果を出して下さい。 テストは定期期間内に行います。
学生へのメッセージ・コメント	